

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 吉田福祉会	代表者	前山 千恵子	法人・ 事業所 の特徴	「この場所でずっと暮らしていくために」という方針のもと吉田地区内に福祉サービスを展開している社会福祉法人です。長善のさとはその中の地域密着型サービス事業所の1つであり、グループホームと小規模多機能センターが1つの建物内に併設されています。 この地区はもともと自治会等を中心とした団結力があり、小学校や保育所も近所なにより地域行事等の際に交流の機会もあります。事業所内はグループホームと小規模多機能センター間の仕切りがなく、互いの事業所のご利用者と職員とが一緒に様々な活動に取り組めるよう努めています。
事業所名	小規模多機能センター 長善のさと	管理者	廣河 宗隆		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	2人	1人	1人	人	2人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	特になし。	特になし。	特になし。	特になし。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 入りやすさを感じられるような外観や玄関周辺的环境作りを行なう。 ● 音や臭いに注意し、過ごしやすい空間作りを行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入りやすい環境作りには努めている。コロナ感染症対策が緩和されてきている中、まだ改善の余地があると感じている。 	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 面会のご家族や地域の方、ボランティア様が入りやすい外観や入り口となるよう、引き続き玄関（屋内外）の環境整備を行っていく。 ✓ ご利用者が居心地良く過ごせるよう、その方の状態や顔ぶれ等に合わせフロアや居室の環境作りを検討していく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ● 「近場の相談窓口」であることが伝わるよう、PRの工夫を検討・実践していく。 ● 地域のイベント等に対し、スタッフが参加しやすい職場環境作りに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も粟生津公民館、粟生津郵便局、四箇村ふれあい館に園の広報誌を掲示して頂いた。 ・郵便局・公民館には広報誌とパンフレットも置かせて頂いているが、法人の広報誌が廃刊になったこともあり、今後に向けて工夫の必要性を感じている。 ・地域行事へは可能な範囲や形態で参加していた。 	ボランティアの受入れ。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ボランティア受入れの再開も含め、方法を工夫しながら長善のPRをすすめていく。 ✓ 引き続き、可能な行事等にはスタッフやご利用者が参加・協力できるよう進めていく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、地域のイベントには感染予防策を充分とりながらご利用者と一緒に参加できるようすすめていく。可能であればその際参加の方法等について相談を行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に続き吉田祭りの際は地区の山車巡行を受入れ皆さんと観覧した。 ・10月の文化祭にはご利用者の作品を展示、ステージ発表も何とか観覧することができた。 	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 運営推進会議の場にて、心配な方などの地域の情報交換が図れるような取組みを進める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、園の様子がイメージしやすい事前資料作りの配慮と頂いたご意見をサービスの向上・改善・満足度につながるような検討や取組みをすすめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の広報誌や写真を資料にするなどの工夫をし始めたところ。園の様子がイメージしやすい資料作りの定着と充実化を図りたい。 	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ (『D』同様) 運営推進会議の場にて、心配な方などの地域の情報交換が図れるような取組みを進める。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、地域の防災訓練への参加と実際の災害を想定した避難訓練の実施を行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練には車いすに重し(利用者の代わり)を載せて持ち込み、実際の避難行動のシミュレーションとした。 ・非常食等の調達先について再検討の必要が生じている。 	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域の避難訓練に参加し、長善のさにおける災害時の避難誘導に役立てていく。 ✓ 災害時用備蓄品や非常食の管理・入れ替え、食品・食材購入先の随時検討を進めていく。